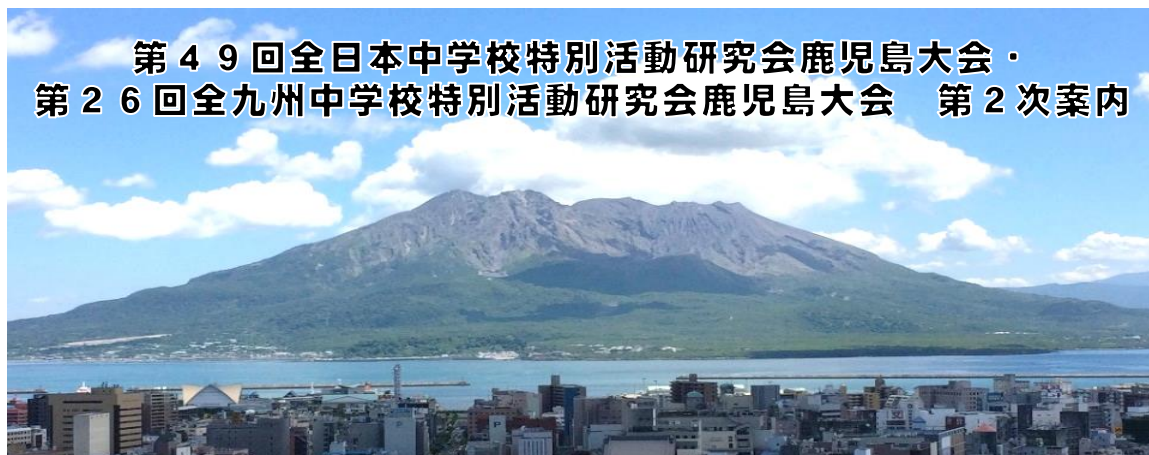


令和3年6月16日

各都道府県特別活動研究会会長 殿
各 中 学 校 校 長 殿
関 係 者 各 位

全日本中学校特別活動研究会会長 青木由美子
(小平市立小平第五中学校)
全九州中学校特別活動研究会会長 田宮 弘宣
(鹿児島市立星峯中学校)



向暑の候、皆様におかれましてはますます御清祥のことと存じます。日頃から本研究会の活動の推進に御協力いただき、感謝申し上げます。

本研究会では、標記研究大会を下記のとおり開催しますので、御案内いたします。学習指導要領改訂の趣旨を踏まえた中学校特別活動の充実を図るために、実り多い大会となるよう、多くの方々の御参加をお待ちしております。

なお、新型コロナウイルス感染症の今後の感染状況が見通せないことから、全国大会としての安心・安全を確保するため、オンラインによる開催としましたので、御理解・御協力をよろしくお願ひします。

記

- 1 大会主題 「よりよい人間関係を形成し、集団や社会、自己の生活上の課題を主体的に解決することができる生徒の育成」
- 2 期 日 令和3年8月10日(火) 【オンラインによる開催】
- 3 主 催 全日本中学校特別活動研究会、全九州中学校特別活動研究会
- 4 後 援 文部科学省、鹿児島県教育委員会、鹿児島市教育委員会、全日本中学校長会、鹿児島県連合校長協会、日本特別活動学会
- 5 参加申込み及び参加方法
 - (1) 申込みフォーム (<https://forms.gle/MHi5GJw5YLYJiCpW7> または右のQRコードからアクセス) に、必要事項を入力してください。
【申込み期限 令和3年7月20日(火)】
 - (2) 当日は、ZOOM ミーティングを使用します。
 - (3) 参加申込みでお知らせいただいたメールアドレス宛にミーティングID及びパスワードを送付します(大会1週間前を予定)。それらを使って、該当のミーティングルーム(全体会または分科会)に参加してください。
 - (4) 各分科会の定員は設けませんが、運営の都合上、第1希望以外の分科会への参加をお願ひすることがありますので、あらかじめ御了承ください。



6 参加費 1,500円 (大会誌と同封して送付する振込用紙でお支払いください。)

7 日程

9:20 9:50 10:15 10:40 10:50 12:00 13:00 13:20 15:40 15:50

受付	開会行事	基調提案	準備	講演	昼食	分科会受付	分科会	〔研究発表 研究協議 指導助言〕	閉会行事
----	------	------	----	----	----	-------	-----	------------------	------

※ 一次案内で予定していた昼食時の全国理事会は実施しません。

8 講演 講師 鹿児島大学教育学研究科 (教職大学院) 准教授 廣瀬真琴 先生
演題 「これからの社会を切り拓くための資質・能力と特別活動の展開」

9 分科会及び事例発表者等

分科会・担当県	発表者	主題	司会者	指導助言者
第1分科会 学級活動	福岡県 福岡市立住吉中学校 教諭 森口俊介	『轍』を確認して、進路設計・将来設計できる生徒の育成 ～思考ツールとICTを活用した特別活動の実践を通して～	福岡市立片江中学校 教頭 糸山 剛	鹿児島県教育庁 義務教育課 指導主事 古河賢一郎
	長崎県 松浦市立調川中学校 教諭 吉田真由美	「ふるさと活性化」と進路指導のつながりを考える ～特別活動と各教科および諸活動等との連携を通して～	松浦市立調川中学校 教頭 中原昌弘	
第2分科会 生徒会活動	大分県 日田市立五馬中学校 教諭 大下 潤	自治力を高める生徒会活動 ～PDCA サイクルにもとづいた取り組みを通して～	日田市立五馬中学校 教諭 小野浩之	鹿児島県総合教育センター教科教育研修課 研究主事 内 祥一郎
	佐賀県 武雄市立山内中学校 教諭 菅 知佳	学校生活を豊かにする生徒会活動 ～各校の実践事例を通して～	大町町立小中一貫校 大町ひじり学園 教諭 黒原誠崇	
第3分科会 学校行事	宮崎県 宮崎市立生目台中学校 教諭 日高美德	学校行事におけるキャリア・パスポートの活用について ～各学校における実践事例を通して～	宮崎市立大宮中学校 教諭 頼 篤子	鹿児島市教育委員会学校教育課 指導主事 馬込 昇
	熊本県 熊本市立植木北中学校 教諭 宮村純子	特別活動の「学び」をつなぐ「キャリア・パスポート」	熊本市立植木北中学校 教諭 堂園夏実	

10 問合せ先

大会事務局：鹿児島県中学校特別活動研究協議会

会長 田宮弘宣 (鹿児島市立星峯中学校長)

〒891-0102 鹿児島県鹿児島市星ヶ峯4-10-1

TEL 099-264-3817 / FAX 099-264-3818

事務局 前園奈津子 (日置市立伊集院北中学校教諭)

〒899-2511 鹿児島県日置市伊集院町下神殿 1154

TEL 099-272-4996 / FAX 099-272-4997



研究誌「学級担任 これさえあれば!!4」

平成29年3月、中学校学習指導要領の改訂が告示され、令和3年4月から全面実施となることから、本研究協議会では、研究誌「学級担任これさえあれば!!3」の改訂を進め、このたび「学級担任これさえあれば!!4」として発刊する運びとなりました。平成5年に発刊の「学級担任これさえあれば!!」から、学習指導要領改訂を契機にその趣旨等を踏まえた内容とするとともに、その時々ニーズも考慮しながら、改訂を重ねてきたところです。

特別活動においては、その指導上の重要な視点として「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の三つが示され、資質・能力の基盤として整理されました。また、学習指導要領解説においてはどのような過程を通して学ぶのかについて、具体的な学習過程も例示されています。さらに、特別活動がキャリア教育の要であるとして、いわゆる「キャリア・パスポート」の活用もその方策の一つとして示されたところです。

これらのことを踏まえ、各学校で特別活動を充実させたり、学級担任としての指導・支援の在り方を見直したりするための参考となるよう、すぐに実践できる事例やできるだけ具体的な取組等を示しながら本研究誌を作成したところです。手に取っていただいた先生方の今後の取組の一助となれば幸いです。



【価 格】

1,500 円

【申込み・問合せ先】

鹿児島県中学校
特別活動研究協議会

事務局

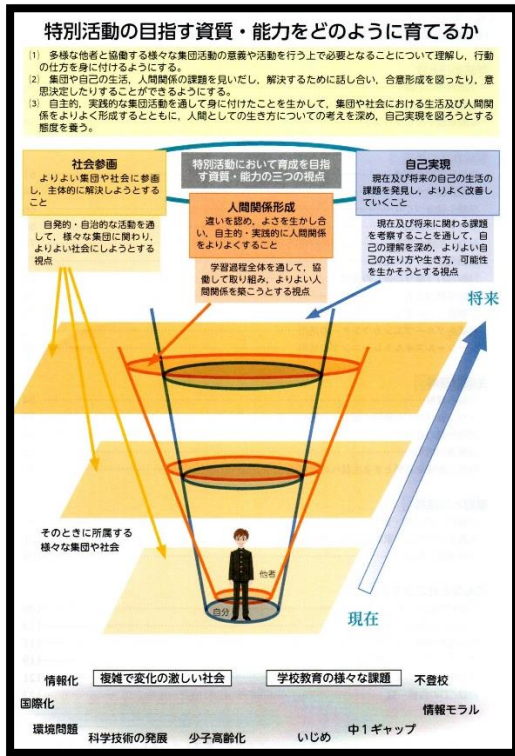
日置市立伊集院北中学校内
前園 奈津子

TEL 099-272-4996

FAX 099-272-4997

【内容紹介（例）】

1章 これからの特別活動



2章 学級活動の内容と展開

(4) 「キャリア教育の要」とは
 中学校学習指導要領総則では、次のように述べられている。

生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基礎となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要として各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること。

特別活動、特に学級活動を要としながら、総合的な学習の時間や学校行事、道徳科や各教科における学習、個別指導としての教育相談等の機会を生かしつつ、学校の教育活動全体を通じて必要な資質・能力の育成を図っていく取組を充実させることで、キャリア教育を効果的に展開することができる。

右図は全ての教育活動を通したキャリア教育のイメージを示したものである。これらの指導に関連性をもたせられるように、特別活動（学級活動）でつなぐと、学習の見通しをもち、学んだことを振り返っていく活動が求められる。

教科等の学習指導においては、学ぶことと自己のキャリア形成の方向性とを関連付けながら、見通しをもって社会的・職業的自立に向けて基礎となる資質・能力を育成する必要がある。特に、特別活動（学級活動）においては、教育活動全体を見直し、学んだことや体験したことを振り返り、気付いたことや考えたことなどをまとめたり、つなぎ合わせたりする活動も求められる。

(5) 「見直し、振り返り、つなぐ」とは
 学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」の取組について、学校での教育活動全体や、家庭、地域での生活や様々な活動を含め、学習や生活の見直しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を行うことが示されている。図は、このことをイメージとして示したもので、各学年や学校段階でこのような活動を繰り返すことによって、一人一人のキャリア形成が図られていくことを示している。

ア「見直し」
 活動内容を見直す
 自己の将来を見直す
 学びや自己の生き方を見直す

イ「振り返り」
 活動を振り返る
 生活や学習の在り方を振り返る
 自己の生き方を見直す

ウ「つなぐ」
 教育活動全体の取組と自己のキャリア形成をつなぐ
 各教科、道徳科、総合的な学習の時間をつなぐ
 小・中・高等学校をつなぐ
 現在と将来をつなぐ
 進路選択を自己実現につなぐ
 将来の学習を自己実現につなぐ

3章 学級担任 365日

朝	<ul style="list-style-type: none"> 余裕をもって出勤しよう。 出勤簿に必ず押印しよう。 教室へ行き、生徒の様子や表情を見ながら明るく元気に声を掛けよう。
職員朝会	<ul style="list-style-type: none"> 行事などの確認をして1日の見直しをしよう。 生徒への連絡事項をまとめよう。 生徒の様子について、職員間で情報交換をしよう。
朝の会	<ul style="list-style-type: none"> 担任自ら進んで「おはよう。」と、元気づけあいさつをしよう。 健康観察をして、生徒一人一人の健康状態を把握しよう。 朝の会の進行は生徒に任せよう。 1日の生活に意欲や希望をもたせよう。 連絡のない欠席者がいるときは、必ず家庭へ電話をして事情確認をしよう。
授業	<ul style="list-style-type: none"> 十分な教材研究をしてから授業に臨もう。 あいさつ、発表や返事の様子、聞く姿勢など、基本的な学習態度は授業を通して身に付けさせよう。
休み時間	<ul style="list-style-type: none"> 時には教室へ行き、授業中には見ることができない生徒の一面を見よう。 生徒の様子について、職員間で情報交換をしよう。
空き時間	<ul style="list-style-type: none"> 生活の記録等を見て、必ず一言を記入しよう。 授業で使うワークシート作成や行事・活動の企画書作成など指導記録簿を活用し、優先順位を付けて確実に処理をしよう。
給食	<ul style="list-style-type: none"> 早めに教室へ行き、給食着・マスク着用等の指導をしよう。 会話と笑顔があふれる和やかな給食時間しよう。 給食後は、食器などの後片付けまで見届けよう。
清掃	<ul style="list-style-type: none"> 生徒と一緒に掃除をしよう。 ほうき係や雑巾係など、分組をあらかじめ決めておこう。 作業後は清掃用具の後片付けまで見届けよう。
帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> 各係に点検活動の報告をさせよう。 翌日の連絡をし、1日の反省をさせよう。 明日に希望をもてるような話をしよう。
放課後	<ul style="list-style-type: none"> 部活動の指導を通して、生徒の成長につなげよう。 教室へ行き、机の並び方や教室の状態を確認しよう。 事務処理をこまめにしよう。特に出席簿は毎日必ず付けよう。 欠席者と早退者へ、その日の学校の様子と翌日の連絡をしよう。 翌日の仕事の確認と机止整理をしてから帰ろう。

学級担任とは

学級担任の心得
 学級担任の1日（例）
 年間準備チェックリスト

学級経営の基本

学級目標づくり
 学級生徒会づくり
 リーダーの育成
 話し合い活動の充実
 人間関係づくりの充実
 「朝の会」「帰りの会」の充実
 ソーシャルスキルトレーニングの活用

生徒の理解

生徒の理解
 教育相談の在り方
 諸検査の活用
 特別な配慮を必要とする生徒への対応

家庭との連携

学級PTAの企画・運営
 学級通信の作成
 こんなときこうする！
 不登校生徒への対応
 いじめへの対応
 ネットトラブルの未然防止 など

3章で構成されています。理論を踏まえて、具体的な実践事例を多く掲載しています。

「なぜこの活動はあるの？」「どのように進めるの？」「こんなときには、どう対応したら？」そんな時にすぐに役立つ一冊です。